

## 「盛岡地本第33回定期大会発言」及び **パート②**

### 盛地申1号 「各支部定期大会発言」に関する申し入れ交渉

3. 八戸駅におけるサービス超勤の実態を明らかにし、実態を基に対策を講ずること。また、営業職場の輸送職と営業職の混み運用の実態を明らかにし是正すること。

非番で団体客対応を15時までやったにも関わらず、昼までの超勤指示を行っていた事象や、青森駅で月の超勤時間を抑えるために、実際の超勤を分割して整理するために「打刻を待ってくれ」と指示された事象について、発生理由とその対策を議論しました。会社からは「八戸駅の事象は現場に聞いたが、その様な事象はなかったと認識している」と考えが示され、議論が平行線をたどりましたが、青森駅の件は「事実は認識している」「是正を図るべく、個人しかできない作業をみんなで行えるようにしていく」との対策が出されました。「打刻をせずに退勤」という指示はこの間の議論に反する事であり、そのような事象が起こらないように、継続して現場長会議などで議論し指導していく事と、適正な超勤整理を行っていく事を確認しました。

また、輸送と営業の混み運用について人材育成・技術継承が目的である事。混み運用であっても駅総体の標準数は変わらない事を確認しました。

4. 各系統のエルダー本体勤務枠拡大施策における、この間の実績と今後の考え方を明らかにすること。また、本人希望を考慮し、丁寧に面談を行い、前広に情報提供を行うこと。

2018年上期での支社内エルダー本体勤務者は29名おり、その人選は「希望する人は多いが、枠ではなく、会社の考え方によって配置している」「職場の要員需給は、全てではないが判断材料のひとつになる」「在来の運転職場に配置がないが、上期がなかっただけで、必要に応じて配置していく」など考え方が示されました。また「エルダー先の提示が遅く、当事者が不安になっている」との指摘に対し「受け止める。少しでも早く提示できるようにしたい」「配置箇所は、その箇所の業務運営・年齢バランスなどを考慮して配置している」と発言がありました。

5. 盛岡新幹線車両センター駅検査班の女性設備を、現場の声を基に早急に設置すること。

「10月2日に現地立会いを行い、新たに盛岡新幹線車両センター駅検査班が使用する男女更衣室を設置する事で検討している」「現時点で具体的なスケジュールは決まっていないが、優先順位は上位であり、来年度の着工を目指している」と会社から考えが示されました。また「冬季の業務を経験させたいので、女性社員の1交勤務を検討している」「駅や幹線の女性施設を借用できれば」など検討課題に対し、地本は「女性設備を整備した後に行うべき」「他職場の勤務に弊害がでるまで行うものではない」と指摘しました。女性設備の課題は、この間も職場の声を基に議論してきており、着実に整備されています。今後も女性が安心して働ける環境を創る為に労使議論を創り出していきます！